

HTB ノンフィクション

「おはよう。いただきます。さようなら。」

～弁華別小最後の一年～

平成 28 年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門

「青少年向け番組」で優秀賞を受賞

当別町^{べんけべつ}弁華別小学校の閉校までを追った HTB ノンフィクション「おはよう。いただきます。さようなら。」～弁華別小最後の一年～が、2016年(平成28年)日本民間放送連盟賞特別表彰部門の「青少年向け番組」優秀賞を受賞しました。「青少年向け番組」での受賞は、2014年「ありがとう いのち ～みんな きみが大事～」の最優秀賞受賞に続いて二度目となります。

なお、同部門「放送と公共性」で、シリーズ企画「老いるショック」が優秀賞を受賞し、特別表彰部門で W 受賞となりました。HTB は、これからも地域メディアとして地域や地域の生活者に心寄せることで、その物語に光をあてる取組みを進めていきます。

【番組制作担当 河野暁之プロデューサーのコメント】

閉校は少子高齢化など社会問題やもの寂しさをテーマに描かれがちですが、今作はそのような社会性を超えたところにある素敵なものを見てほしいと制作しました。子ども達の生き生きとした表情やみずみずしい感性。「何気ない日常が大切な宝物」。ナレーションにその思いを込めました。

【受賞番組】 HTB ノンフィクション「おはよう。いただきます。さようなら。」
～弁華別小最後の一年～

【放送日時】 2016年4月2日(土) 午前6時～午前6時30分(北海道ローカル放送)

【スタッフ】 撮影・演出：三戸史雄 音声：高橋政人 編集：馬場亮介
取材・ナレーター：森さやか(HTBアナウンサー)
企画・プロデューサー：河野暁之

【受賞した番組の内容】

2016年3月に閉校した道内で最古の木造二階建て校舎、当別町立^{べんけべつ}弁華別小学校と14人の子どもたちを一年間にわたり取材したドキュメンタリー。その場にカメラクルーや取材者がいないかのような取材・制作手法で、子ども達の成長と学び舎との別れを映し出した映像詩に仕上げました。

*日本民間放送連盟賞 特別表彰部門

日本民間放送連盟(民放連)が2006年新設した部門賞で、このうち「青少年向け番組」は、青少年への影響やメディアリテラシーの向上など、民放に対して求められている放送活動に照らして賞が贈られています。